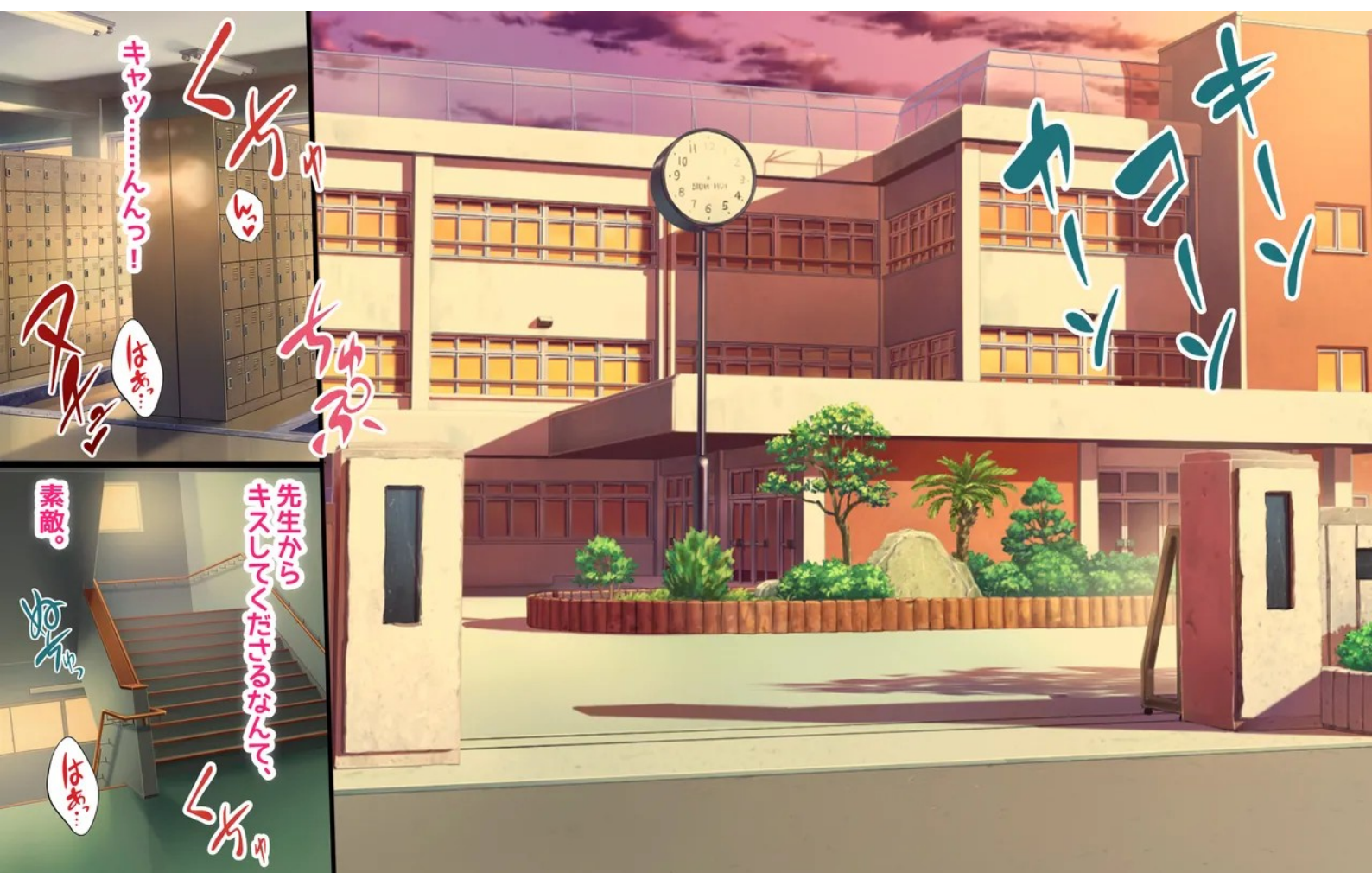






はあっ、はあ……
よかったです。

先生は？
ウフ、うれしいです。

これからも、
私のお相手
してくださいね？

はあ……

はあ……
はあ……

はい、ここまで！。
どう、キミも
少しは慣れてきたかな？

あはは、
また放心状態に陥ってる。

すっ
なかなかいい
演技っぷりだったよ。
キミ、演劇に
向いてるかもね！

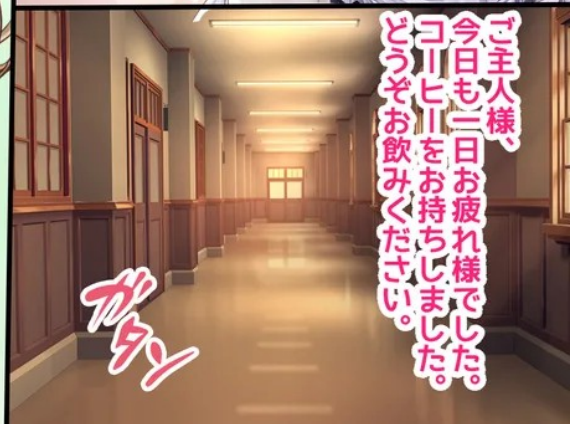
さあ、
次のエチユード行くよ！

はい。
まだまだ続くよー！
しっかりとついてきてね。



おかえりなさいませ、
ご主人様。

というわけで……ジャン！ ずっ、
次はメイドです。
キミはご主人様ね。
それでは……スタート！



ご主人様、
今日も二日お疲れ様でした。
コーヒーをお持ちしました。
どうぞお飲みください。

ガタン



お口に合ったようで何よりです。
ご主人様に喜んでいただけることが、
私の一番の幸せです。

ご主人様、最近、
お疲れだったようなので、
少しでも元気になってほしくて、
今日のコーヒーは
オリジナルブレンドでお淹れしました。

他に、何か私に
できることはありませんか？

ツカ

えっ、何もない？
そんな、
そうおっしゃらないでください。

私、ご主人様のお力になりたいんです。
ご主人様を少しでも癒やして差し上げたいんです。

何もないとおっしゃるのなら、
私からご奉仕させていただきます。
よろしいでしょうか？

では……。
私に身体を預けてくださいね……。
ご主人様。きつと、
よくして差し上げますから。

ドキ

ザシッ

ドキ

ガタン

まずは肩を揉んで
差し上げますね。
後ろを失礼して……
モミモミと……

じゃあ

あら、やっぱり
凝ってらっしゃいますね。
よくほぐしておきましょう。

いかがですか？いいですか？
よかったです。
じゃあ、もう少し続けますね。
しっかりとほぐしませんと……。

じゃあ

ニカ

他にも、どこかお身体で
気になる部分がありますか？

遠慮せずにおっしゃってください。
これでも私、
マッサージは得意なんですよ。



えっ、耳ですか？
うーん……
わかりました。

耳へのマツサージは
やったことが
ないのでが、
一度挑戦してみますね！

ご主人様。
お耳にかかっている髪の毛を
少し失礼しますね。
それでは……

ペロツ…ピチャピチャ。レロレロ…

ご主人様、
こんなマツサージはいかがですか？
せんえつながら、
私の舌でご主人様のお耳を
マツサージさせていただきます。

ペロツ……
ピチャピチャ。
レロレロ……

今は難しいことなど何も考えずに、
私に与えられる刺激だけに
集中しててくださいね。

ぴちゃぴちゃ……んん。

れろ
れろ
ちゅあ
ぽ
ちゅあ
ちゅあ



あら、もしかして...
違う意味で気持ちよく
なっちゃいましたか？

ウフ。それでは...。
次は唇。
マッサージしましょうか。

それでは、
失礼しますね...。

は...ん...
ちゅ...ちゅ...

ちゅる...ちゅ
ん...はあ...

ちよっと、
前に移動させていただきます...。

これは、
私からご主人様だけへの、
特別なマッサージですよ？

私、他の方にはこのようなこと、
絶対にいたしませんので。
それはしかとお約束いたします。

はあ...

ぬゅ

は...
ずん

ぬゅ

ギシッ

はあ……ご主人様、
キスがお上手すぎて、
私の方が気持ちよく
なっていました……。

いけませんね。
メイドとしてもつと
ご主人様に尽くせるように
がんばります。

さあ、キス……
じゃありませんでした、
唇へのマッサージの
続きを……。

ドキ

ドキ

はっ……んん……
ちゅちゅっ……
ちゅう……

んん

んん

ちゅるちゅる……
ちゅ……

んん
んん
んん

ん……はあ……。
う、ダメ……。
私。ご主人様にメロメロです。
ちゅっ、

はあ……

やだ、
可愛いメイドだなんて、
ご主人様……。
最大級の褒め言葉、
ありがとうございます。







や、やだ！
イクだなんて。
そんな、はつきり……。
……あつ舐めないでっ！
んっ……

イキます、
イッちやいます……っ、ああ。
乳首イキしちゃうっ……！

ふぁっ
♡♡♡♡

やあつ、ご主人様あ。
ああつ、ふっ、んん。
やつ、あ……んんう。

あああああ……！！

ぶるん

あっ♡

ゼクゼク

ゼク



はあ...

イ、イッちゃいました...
本当に、乳首だけで。
こんなの、初めて...

はあ...

ご主人様の舐め方がお上手すぎて、
とってもエロかったの。
とっても気持ちよく
なれちゃいました...
恥ずかしいです。

もう、ご主人様ったら...
メイドの私にこんなに
よくしてくださるなんて、
私、感激してしまいます。

はあ...

はあ...

さあ、今度は私が
ご主人様を気持ちよく
してあげる番です。

ご主人様...。
少しおチンポ、
失礼しますね。

すっ



ん……ちゅっ……ちゅるる……
ちゅるる……は、あ……
ん……ちゅるる……

うん、美味しい……
こんなの、たくさん頼張れちゃう。
おかわり、もつと
いただいてもいいですか？

ん……ちゅっ……ちゅるる……
ちゅ……ん……はあ……。



わあ、こんなにもう
おっきくなって……。
私の痴態を見て
感じてくださったんですか？
やだ、もう恥ずかしい。



今度はご主人様の番ですよ。
優しく舐めて
差し上げますね。

はあっ、
どうかなさいましたか？
ご主人様、
まだ途中ですよ？

私のテクニクはまだまだ、
ここからなので……。
ん……ちゅっ……!!

ご、ご主人様……？
引き剥がさないで。
私、もう少し
フェラを……。

フフッ、もしかして
我慢できなくなつて
しまいましたか？
かしこまりました。
私も同じ気持ちです。

早くご主人様の立派なおチンポで、
私のお○んこを
いっぱいにしていただきたいです。
それじゃ……。

きゃっ！
こんなに激しく
押し倒すなんて……
ご主人様ってば、
積極的なんですから。

あつ、そんなに
足を開かないで。
恥ずかしいですう……。

はい、
私のナカに、
どうぞ入ってきてください……。

まあ、ちゃんとゴムを
つけてくださるご主人様、
優しくて大好きです。

ガタン

ガシッ



んああっ！
イイです！
ご主人様のおチンポが
いい感じにあたって、
すごくイイ……！

ナカの、
私のイイところを
突いてくる……っ！
ああっ！
もっと、もっと奥を
突いてください……っ、

ふっ、んんう。
は、あ……
あっ……ん……
あっ、あ……

ああ、んっ……
はあっ……ご主人様あ。
私、ますますご主人様のことを
お慕いしてしまいそうです。

ご主人様……好き。

アッ
アッ
アッ

ぐ
ぶ
っ

あ
ハ
ハ
ハ

は
あ
ッ

セ
ク
セ
ク











……はあっ、
あああ……っ！

ああっ……んう
あっ、はああ……！！

は、あっ……
んああ、んんっ……

はあ……♡

フ
チ

ア
タ

セ
ク
セ
ク

私のナ力で、
ご主人様のが
ギチギチいっぱいにまで
大きくなってるのが
伝わってきます。

もう少しで私、
本当に達して
しまいそう……。
ご主人様、
一緒に参りましょう？

如
ゆ
如
ゆ

ハ
ハ
ハ
ハ

グ
グ





えっ、舐めたいって、
そんな、恥ずかしいっ……

キャッ！

あつ、ああ……！

そんなところ、

舐めるなんてえ……

あつお

はあッ

ああん！
ああん……ああ、
はあつ、ああ……！

せッ

もっ、ダメエ……
ねえ、先生。
そろそろ、ひとつになりました……

えっ、あつあつ、
まだあ？
ああん……。

ああん……ああ、
はあつ、ああ……！
ああああ……！



はあっはあっ……激しい。
でも、まだイケないの……
先生。

ねえ、お願い。
それじゃ物足りないの。

もつとぶつとーい
先生のおチンポを
お○んこにちょうだい？

うん、どうしても欲しいの。
先生の……
お・チ・ン・ポ・

あつ、先生。
待つて！
私からまたがつても
いいですか……？

私が先生を
食べちゃいたいの……
それが私の夢だったから。
チュッ。

じゃあ、失礼して……
挿れますね……。



んああっ！
は、あ……ん……もう最高！
先生のおチンポっ、
本当にいいわあ……ああ！

もつと、も……つと
ちようだい！
んああっ……ああっ！

あ、
セクセク

どんどん先生とひとつに
なっていくのがわかる……っ。
すばらしい経験だわ……っ！

先生、
満足して下さってます？
私のナカ……っ、いかがですか？

ああ、よかった。
いっぱい……っばい
気持ちよくして差し上げますね。

ザシッ



あつ……ん……は、あつ、あ……。
は、あつ……んあ……は……

気持ちいい。
やっぱり、
思ってた通り、
先生のおチンポ、よすぎます。

ねえ、
先生からも突いてえ！
いっぱい突いてえ！

ああつ……ん！
……はつ、はあ……つ。

あつ、ああ……！
ああ、んんっ……

もうダメえ。
私、先生なしじゃ
いられないカラダになりそうっ！

休憩しないで、先生！
もっと私を
求めてくださらないとっ！

せりっ

セクセク



ごめんなさい。
私、はしたない女なんです……っ！

ああっ……ん！
はっ、はあ……っ。

あっ、ああ……！
ああ、んんっ……

先生、
やっぱり好きい……。
先生も、先生のおチンポも……
大好き。

ああっ……ん！
はっ、はあ……っ。

もうイッちゃいそう。
お願い、先生……
私をめちゃくちゃにしてー！！

はあッ

あっ、ああ……！
んんっ……

あッ

あッ



